

障害の有無で子育てを分けない インクルーシブ保育を推進するどろんこ会グループ 横浜と郡山で初の「保育所併設の児童発達支援事業所」を開設

社会福祉法人どろんこ会（本社：東京都渋谷区 理事長：安永愛香）は2021年5月1日（土）、福島県郡山市に「発達支援つむぎ 八山田ルーム」、および神奈川県横浜市に「発達支援つむぎ 新羽ルーム」を新たにオープンしました。どろんこ会グループは、インクルーシブ保育実現のため「認可保育所と児童発達支援事業所の併設モデル」の設置を東京・千葉・埼玉で推進してきました。そしてこのたび初めて横浜と東北エリアにも展開することになりました。

「発達支援つむぎ 新羽ルーム」 新羽どろんこ保育園併設

特徴 どろんこ会グループとして初の横浜市での併設モデルとなります。すでに運営中の認可保育所内のスペースを活用して児童発達支援事業を展開するという、従来にはない画期的な取り組みを実現しました。

所在地 神奈川県横浜市港北区新羽町 2185-1

運営時間 8:30～17:30



「発達支援つむぎ 八山田ルーム」 八山田どろんこ保育園併設

特徴 どろんこ会グループが推進する併設モデルが初めて福島県郡山市に誕生しました。立派な築山のある園庭と子どもたちが部屋を自由に行き来できる大きな一つの家で、障害の有無で分けるのではなく共に暮らします。

所在地 福島県郡山市富田東 4 丁目 90 番

運営時間 8:30～17:30



インクルーシブ保育が目指す真の共生社会

どろんこ会グループは子育ての場を障害の有無で分けません。認可保育所と同じ敷地に、同じ園舎内に児童発達支援事業所を併設することで、すべての子どもが共に遊び、学び、食べ、眠り、育つインクルーシブ保育を実現します。子どもたちが、それぞれの個性のぶつかりあいを経験し、違いを認めて頼りあい、手を差し伸べあうことを学んでいくことが、共生社会に向けての土台づくりだと考えています。

児童発達支援事業所「発達支援つむぎ」では、障害や心身の発達に気がかりのある子どもたちが、保育所の子どもたちと共に生活します。同時に個々の特性に最大限配慮しながら、発達支援の専門士が必要な支援をしています。それは大人が考えたプログラムをできるようにする支援ではありません。何より「子どものやってみよう」から広がる発達の可能性を大切にします。畑仕事や田植えや稲刈り、散歩などの戸外体験、音楽やダンス、制作など表現活動の機会を通じ、「ホンモノの体験」ができる環境を子どもたちに提供します。

各園について取材をご希望のメディアの方は、広報部までお気軽にご連絡ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

どろんこ会グループ （東京都渋谷区渋谷 1-2-5 MFPR 渋谷ビル 13F）

広報部 ^{もろが} 諸我・松本 TEL : 03-5766-8059 Email : koho@doronko.jp

(参考資料1)

どろんこ会グループの発達支援事業について

児童発達支援は、児童福祉施設とされる①「児童発達支援センター」と、それ以外の②「児童発達支援事業」の2種類に分かれています。いずれも障害児とその家族に対する支援を行うことは共通していますが、①は専門機能を生かした地域の中核的な支援施設の位置づけとなり、②は利用者の相談・支援が中心のより身近な場とされています。

どろんこ会グループでは、下記の施設で発達支援事業を展開しています。保育士・公認心理師・臨床心理士・言語聴覚士・作業療法士・理学療法士・音楽療法士などの専門士を配置し、各々の発達に合わせた効果的なプログラムを提案、提供します。

さらに、各施設には「つむぎカフェ」を併設しており、利用中のわずかな時間でも保護者の方がほっと息をつけるように、コーヒーや紅茶を用意しています。カフェは地域のすべての方にも開放することで、地域とつながる場を創っています。



名称	所在地	分類	併設保育所名
子ども発達支援センター つむぎ浦和美園	埼玉県さいたま市	児童発達支援センター	
発達支援つむぎ ふじみ野ルーム	埼玉県ふじみ野市	保育所併設の児童発達支援事業所	ふじみ野どろんこ保育園
発達支援つむぎ 桶川ルーム	埼玉県桶川市	保育所併設の児童発達支援事業所	メリー★ポピンズ 桶川ルーム
発達支援つむぎ 駒沢ルーム	東京都世田谷区	保育所併設の児童発達支援事業所	駒沢どろんこ保育園
発達支援つむぎ 北千住ルーム	東京都足立区	保育所併設の児童発達支援事業所	北千住どろんこ保育園
発達支援つむぎ つつじヶ丘ルーム	東京都調布市	保育所併設の児童発達支援事業所	つつじヶ丘どろんこ保育園
発達支援つむぎ 阿佐ヶ谷ルーム	東京都杉並区	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 吉祥寺ルーム	東京都武蔵野市	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 池尻ルーム	東京都世田谷区	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 目白ルーム	東京都豊島区	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 府中ルーム	東京都府中市	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 調布ルーム	東京都調布市	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 荻窪ルーム	東京都杉並区	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 宮下ルーム	千葉県君津市	保育所併設の児童発達支援事業所	宮下どろんこ保育園
発達支援つむぎ 横浜西口ルーム	神奈川県横浜市	児童発達支援事業所	
発達支援つむぎ 横浜東口ルーム	神奈川県横浜市	児童発達支援事業所	

どろんこ会グループの発達支援施設の一覧はこちらからもご覧いただけます。

https://www.doronko.jp/facilities_type/type-020/#condition

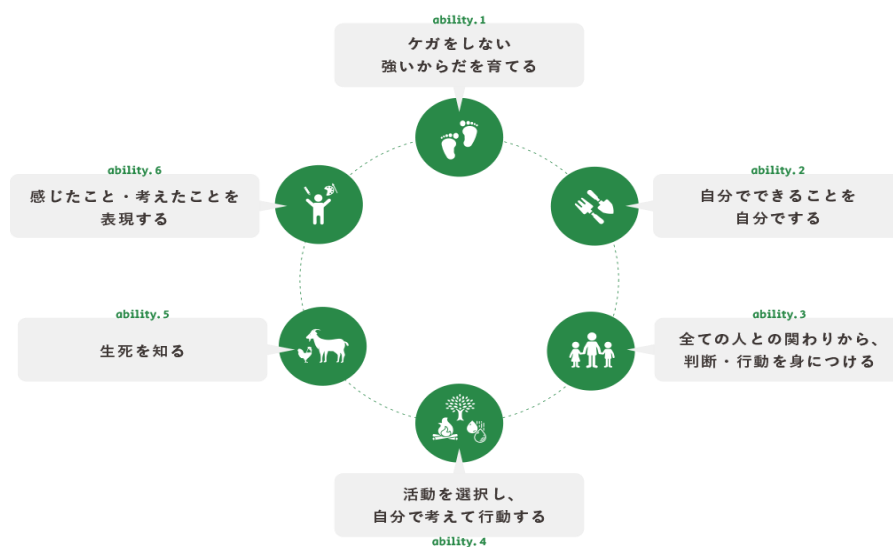
児童発達支援事業と保育所は、同じ児童福祉法に基づく施設ですが、制度面の違いから別々で設置されていることが一般的です。ですが、どろんこ会グループは、未来を共に生き抜いていく力の土台を育むために、すべての子どもが同じ屋根の下で暮らし、どの子どもにも発達に必要な経験の場を保障する「併設モデル」を推進しています。

弊法人のホームページにて実際の取り組みを以下でご覧いただけます。ぜひ一読ください。

「全ての大人が全ての子どもを育てる保育園」へ。どろんこ会が目指すインクルーシブ保育「保育園＋発達支援つむぎ」の取り組み <https://www.doronko.jp/action/20180830a/>

(参考資料2)

どろんこ会グループの子育てとは



どろんこ会グループの子育てでは、就学前教育の前段階から非認知能力を育むことに重きを置いています。そのために必要な6つの力を身につけることを目標としています。

1. ケガをしない強いからだを育てる

園では裸足で過ごし、長距離散歩や木登り、リズム体操、雑巾がけ、座禅を取り入れています。

2. 自分でできることを自分でする

子どもたちは畑仕事をし、自ら育てたものを調理する体験もします。給食のお米は、新潟県南魚沼市にある自社の田圃で植え付けから精米、発送まで自給自足で行っています。子どもたちも田植え、稲刈りに参加します。

3. 全ての人との関わりから、判断・行動を身につける

0歳から5歳児が共に暮らす異年齢保育、そして障害の有無では分けないインクルーシブ保育を実践しています。地域の交流を大切に、商店街ツアーや青空保育を行っています。

4. 活動を選択し、自分で考えて行動する

火、水、土と関わることで、自然の事象に自ら気づき、考える力を養います。

5. 生死を知る

ヤギやニワトリなどの生き物の世話を通じ、命の重みを知ります。また、「命あるものを食している」ことを経験するための食育、命の大切さを学ぶ性教育も実施しています。

6. 感じたこと・考えたことを表現する

生活の中で自由に表現し創る環境を用意し、子どもが感じたこと、考えたことを表現できるよう保育計画を立てています。

どろんこ会グループ（社会福祉法人どろんこ会、株式会社ゴーエースト、株式会社日本福祉総合研究所、株式会社南魚沼生産組合）は全国130箇所を超える認可保育園、事業所内保育所、児童発達支援センター、子育て支援施設等を運営。次代を担う子どもたちの「にんげん力」を育む体験型保育・自然保育を行う。幼児期の性教育や男性保育士比率の高さなど、各種メディアでもその取り組みが紹介されている。

1998年設立。職員数約2000人。利用者数約7000人（2021年4月現在）

HP：<https://www.doronko.jp/> Facebook：<https://www.facebook.com/doronkokai/>

Twitter：[@doronko_offical](https://twitter.com/doronko_offical) Instagram：[@doronko_official/](https://www.instagram.com/doronko_official/)

Youtube：<https://youtu.be/d-SV7YuQmIM>